

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.944
2022.1.2-9

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

とりうみ敏行	神田よしゆき
松村 としお	とば めぐみ
久保 みき	たけこし 連
金子 あきよ	

市役所本庁舎移転問題

市民への十分な説明と 意見交換をつくってこそ



昨年2月、清水勇人市長が突然、「2030年(令和13年)を目途に、さいたま市役所新庁舎をさいたま新都心に移転整備する」と発表したことから、市民の間に不安の声が広がっています。

市が作成した「新庁舎整備等基本構想(素案)」では、約217億円のイニシャルコスト(新庁舎使用開始までにかかる費用)が予定されています。2021年12月議会には、「2019年2月に約40億円の税金を投入して現庁舎の耐震化をおこなったばかりなのに、なぜ移転なのか疑問だ。市民に寄り添い多様な意見を聴くべき」との主旨の請願が提出されました。しかし、請願に対する参考意見聴取で市は、「現庁舎が使えなくなるから移転するのではなく、『合併協定書』を踏まえた庁舎の位置を検討した結果」と答えました。これはまさに、「合併協定書」先にありきの決定であることを明らかにしたものです。党市議団は、この請願について「市民に十分な説明を尽くしたうえで審判を仰ぐのが筋だ」と主張し、「継続審査」を求める動議を提出し、採決には退席をしました。

また、浦和区自治会連合会のみなさんから、「行政主導の姿勢に疑問を呈したい」として、



(上) 移転先の候補とされている新都心バスターミナル (下) さいたま市役所

2月議会に向けて市民中心の市政運営を求める請願の提出について話がありました。

党市議団としては、現在地で建て替えた場合のコスト試算など、移転にともなう合理的な説明とすべての情報開示、および市民との率直な意見交換が不十分であり、市民不在のまま進められることには反対します。なによりもいまは、コロナ禍で市民のいのちと生業を守ることに集中すべきであるため、現時点での新庁舎移転問題は先送りし、十分に時間をかけて市民の意見を聴くべきです。



あなたの声が市政を動かす いのち・くらし第一のさいたま市へ

みなさまにおかれましては、2022年をご健勝にてお迎えのことと思います。

昨年は、一昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症から市民のいのちとくらしを守るために全力をあげた年でした。経済支援策として実施された小規模企業者・個人事業主支援金は3回目の支給まで実現し、さらなる継続を求めています。また、ワクチン予約支援体制の拡充やフリーダイヤル化、生理用品の無償配布などを求め、実現しました。夏にはオリンピック・パラリンピックが開催されましたが、市民の声で「中学校連携観戦」を中止させるなど、市民の声が市政を動かした1年だったと言えます。

さらに、犯罪被害者支援条例がいよいよ制定され、市立の知的障がい特別支援学校の設置も実現に向けて動き出しました。

2022年は、市庁舎移転計画、浦和駅前再開発、南区の義務教育学校、公立保育所の統廃合など、とりくむべき課題が山積しています。また7月には参議院議員選挙が予定されています。日本共産党さいたま市議団は、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、市民のいのち・くらし第一の市政実現のために全力を尽くします。今年もどうぞよろしく願っています。

日本共産党さいたま市議団

議案外質問 (12月6日)

総合政策

庁舎内のキッチンカーにリユース容器を



使われている容器のほとんどが使い捨てのプラスチック容器です。地球温暖化が

深刻で、プラスチックごみの削減が叫ばれているときにこれではいけません。

久保 キッチンカーで使用する容器をリユース容器に変更するとりくみを実施できな

久保みき市議は、一昨年(2020)年の9月から導入された庁舎の敷地内のキッチンカーについて質問しました。キッチンカーはできたての料理を提供していて、とても人気がありますが、

いか。
市 キッチンカーで使える容器は、使い捨て容器のみと法令で定めている。利用者が容器を持ち込むことについては、法令上の定めはない。しかし事例はないし、衛生面の不安や適切な容量が量られない場合があるなどの課題がある。

久保市議は、「リユース容器はお任せください、とうとう民間事業者もある。おもにイベントで活用されている。これからは、公民連携で、『地球温暖化防止に寄与するさいたま市』としてとりくんだらどうか。環境局とも連携が必要なので、ぜひ検討をすすめてもらいたい」と話しました。

総合政策

避難所開設時の環境改善すすむ



神田よしゆき市議は、避難所の環境改善でエアーマット、ダンボールベッドの備蓄状況について質問しました。2019年に起こった台風19号によって、本市でも甚大な被害が出て、避難所が開設されました。そのなかで、避難所で待機する際にかたくて冷たい床にブルーシ

ートを敷き、そこに座ったり寝たりしなければいけないなど、避難所の環境が大きな課題となりました。

党市議団は、避難所の環境改善のために、エアーマットと段ボールベッドを配置することを提案してきました。その後の進捗状況について神田市議が確認すると、市は「現在、エアーマットは一般避難所に60枚、公民館などの要配慮者避難所に20枚配備。さらに地域の防災拠点には10枚を事前貸与しており、地域の要配慮者の分は今年度増やしていく」との回答でした。また、ダンボールベッドについては、拠点備蓄倉庫に75台配置され、災害発生時は必要に応じて各避難所に配送する体制を組んでいることを明らかにしました。引き続き、避難所の環境改善のためのとりくみを提案していきます。

全国最大規模の義務教育学校

混乱を招く乱暴な計画



発言するとば市議(中央)

12月4日、埼玉自治体問題研究所主催で「学校統廃合を考える埼玉交流会」が開催され、金子あきよ、とばめぐみの両市議が参加しました。全国からのオンライン参加も含め、120名を超える参加で熱気にあふれました。

熊谷市、上尾市、越谷市、鴻巣市、嵐山町など県内各地から、公共施設マネジメント計画に基づく学校統廃合、小中一貫校、義務教育学校等の計画が報告されました。

さいたま市が計画している90学級・3600人の全国最大規模である「武蔵浦和学園構想」についても報告があり、小学校教科担任制も導入しながら、3つの小・中学校をひとつにする巨大規模校の建設につ

いて、会場から驚きを超えたどよめきが起こりました。

市は「大きくてもアットホームできめ細やかで効率的な学校」と言いますが、市民が長く親しんできた沼影公園も沼影プールもつぶすことに地元からも大きな反対の声が上がっています。とば市議は「住民、子ども、保護者、教職員に混乱を招く乱暴な計画は認められないと、あらためて確認できた」と発言しました。

あなたの身近な議員です



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(南区)

金子あきよ



市議(北区)

神田よしゆき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(中央区)

たけこし連